



以前は診断できなかった早期のがんも、内視鏡で診断できるようになりました。

## 化学療法や放射線治療も充実

切除術のみならず、化学療法（抗がん剤治療）を受けられる患者さんも多く、外来化学療法室も充実しており、入院せずに通院で化学療法を受ける患者さんも少なくありません。

放射線治療も行っていますので、適応があれば、放射線治療を受けることもできます。大学病院や近隣医療機関からも、たくさんの放射線治療依頼を受けています。

もうひとつ、当院には「緩和ケア病棟」がありますので、不幸にもがんに対する積極的治療ができない患者さんにも「緩和ケア」を専門的に提供できる体制が整っています。

## 消化器がん各種治療をシームレス&トータルに

こうした「診断－積極的治療（内視鏡的手術も含めた手術、化学療法、放射線治療）－緩和ケア」と消化器がんに対する各種治療をシームレスにトータルに提供できるのが友愛記念病院の消化器がん治療の大きな特徴です。

また、近隣の医療機関との連携も当院の消化器がん治療の特徴です。毎月第3月曜日の夜には「消化器病カンファレンス」

という症例検討会を開いており、当院に紹介され治療を行った患者さんの診断・治療の経過を近隣医療機関の先生方に報告しています。この会は開院以来綿々と続いており、もうすぐ300回目を迎えます。



近隣医療機関の先生方を招いて毎月1回開催されている症例検討会「消化器病カンファレンス」。開院以来の開催数およそ300回にのぼる伝統的カンファレンスです。

